

紫ずきん出荷調製機械体系見学会 開催要領

1 目 的

紫ずきんは中丹地域の地域重点推進品目に位置づけられているが、近年は生産者数や栽培面積が急激に減少している。

実需者側からの人気が高い紫ずきんの生産量を維持するにあたっては、経営体当たりの作付け規模の拡大が必要であり、そのためには作業労力の大部分を占める出荷・調製作業の機械化による省力化を推進する必要がある。

新たな品目導入を検討している経営者等に紫ずきんの栽培、出荷・調製作業の機械化事例を学んでもらう見学会を開催し、大規模栽培への取組を検討する機会とする。

2 日 時 令和8年10月16日（金）13：30～14：30

3 場 所 ベジタブルプレイス紫ずきん作業場（綾部市上八田町仲田 17）
別添地図参照

4 内 容

（1）紫ずきんの出荷・調製作業の機械化について

導入の経過・事業等について

J A全農京都農畜産部園芸課 課長 南裏 英樹 氏

紫ずきんの機械体系について

中丹東農業改良普及センター 主査 嶋田 綾子

（2）実際の作業の流れ、導入しての感想

綾部市紫ずきん生産者 山本 哲也 氏

（3）出荷・調製機械 見学

5 参集範囲 紫ずきん生産者

紫ずきんの大規模栽培に興味のある経営体等

J A全農京都担当者

J A京都にのくに営農担当者

中丹地域特産物育成協議会産地育成推進指導員

京都府中丹東農業改良普及センター 職員

京都府中丹西農業改良普及センター 職員